



岩の芽生え

“芽生え”とはどうもピンとこないなという評もきかれたが春先大地に芽吹く藨のとうを連想したものである。実際はおなじみの“玉ねぎ構造”で安山岩が風化して生じた形である。海岸の露岩であるため一つ一つの玉が洗い出され美しいパターンを描いている。能登半島西岸高浜町北方の上野海岸で撮影。

所内 第15回写真コンクール
 入選作「岩の芽生え」
 地質部 盛谷智之

～地質調査所の出版物～

・地質調査所月報第20巻第7号

報 文

- 石原舜三・望月常一：島根県東部の阿用川を中心とする水の化学的性質——とくにウランの異常について——
- 飯塚 進：火薬爆発によって生ずる地震波動について (II)——振幅と火薬量および爆破条件との関係——
- 大森江い：宍道湖・中海底質の化学組成について (水成岩の化学組成の研究 その2)

資 料

ルーマニア人民共和国の石油および天然ガス産地におけるガンマ・フィールドの異常 (久保田訳)

地質ニュース	第181号	9月号
昭和44年9月25日	定価	¥250 千12
編集	発行	
発行人	工業技術院	地質調査所
発行所	株式会社 美業公報社	雄
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (261) 7173-9387	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	政府刊行物販売所	
	東京都千代田区大手町1の5	
	Tel. (211) 5570	
印刷所	共同印刷株式会社	